

ささやま 市議会だより

July
2010
Vol. 46

輝け！未来の議員さん!?



写真:議場見学する大山小学校3年生(平成22年6月)

各委員会で活発な活動
補正予算・条例審査
市政を問う:一般質問に8名が登壇!
信頼回復に向けて

学校園の安心・安全な 管理体制の構築に向けて

平成22年6月2日午後4時5分頃、市立古市小学校3階図書室北側の窓から第1学年女子児童が転落し、その後、医師による懸命の救命措置が行われましたが、同日の夕刻、尊い命が失われるという、大変悲しく、痛ましい事故が発生しました。お亡くなりになられましたお子さまのご冥福を心からお祈り申し上げます。

篠山市議会



市内学校 園施設を調査

安心・安全であるはずの学校であってはならない事故が発生したことを受け、文教厚生常任委員会(渡辺拓道委員長)では、委員6名が2名ずつの3グループを編成し、判断能力等から危険性が高いと想定される幼稚園、小学校、特別支援学

校を訪問し、聞き取り調査及び施設の安全確認・点検を行いました。調査は、窓周辺をはじめとした転落防止対策の状況や施設全体の危険箇所の有無を確認するとともに、校内全体の清掃や整理整頓など、施設管理の状況等を点検しました。合わせて、児童数や教職員数、校舎、屋内運動場、プール等の施設の

【報告書の主な内容】

- 施設構造的に転落等の危険性が高い箇所及び机・棚等の備品の配置等、人為的に危険性を高めている箇所について、早期に対策を行うこと。また、校舎裏等、子どもの行動把握がしにくい「死角」や、職員室の窓の張り紙、樹木等で見通しを悪くしている人為的な「死角」の改善も早期に取り組むこと。
- 転落防止手すりの安全上必要な高さ等、明確な統一点検基準を作成し、安全な施設づくりに努めること。
- 危険箇所も放置してしまうと「あたりまえの風景」になる恐れがあるため、点検カード項目の再検討や「子ども目線」による点検を工夫すること。
- 学校行事や校外学習での子どもの管理体制の再点検とともに、1名しか配置されていない養護教諭のサポート体制の検討等を早期に行うこと。また、幼稚園教職員はぎりぎりの人員配置となっており、早急に改善すること。
- 危険事案や対策事例等の情報は、同種の事故防止に繋がるため、学校園間での共有を図ること。

教育委員長・ 市長へ申し入れ

この結果、80カ所を超える構造的な危険箇所とともに、施設点検や子どもの管理等の安全管理面や安全指導・安全教育面においていくつかの問題点や課題が見つかりました。

調査結果をふまえ、一定の課題も見えてきたことから、「第一次報告」(主な内容は2ページ下段を参照)としてとりまとめました。その上で、平成22年7月1日には、早急に課題・問題解決に向けた取り組みを行うこと等を教育委員長及び市長へ申し入れました。

同じような 事故を起こさない ために

今回の調査及びとりまとめについては、緊急性を考慮し、短期間で行ったため、十分な調査ができたとは言いがたい面はありますが、学校園の関係者に参考になり学校園の安心・安全づくりにつながることを強く望みます。なお、調査を残している中学校については、今後、現地調査を実施し、その結果も含めて最終的なとりまとめを行っていきます。

からの転落事故が市内学校において発生していたにもかかわらず、今回の事故が防げなかったことは大きな問題です。その原因が教育委員会にあるのか、学校園現場にあるのか、施設設置者にあるのか、またはその連携にあるのか等の検証については、今後の大きな課題であります。市議会では、教育全般的な視点から子どもの安心安全について

引き続き調査研究に取り組んでいきます。

人為的に死角を作ってしまう事例



現地調査の様子

また、転落防止手すりをつけることと同時にソフト面で取り組むべきことはまだまだ残されています。特に文部科学省より平成20年8月(学校現場における転落事故防止の留意点)と平成22年4月(学校における転落事故等の防止について)の二度の通知があったにもかかわらず、また平成9年2月に発生した市内小学校の窓からの転落事故とそれ以降数度の階段部

学校施設の危険箇所 を緊急改修

議案第96号 平成22年度篠山市一般会計補正予算(第2号)

児童転落事故を受け、徹底した学校の安全管理に緊急に取り組むために増額補正の提案がありました。学校施設維持管理費1,017万3千円の増額補正の内容は、子どもが転落する可能性のある窓等について、防止策として手すりを設置するもので、小中特別支援学校の校舎21校、屋内体育館13校が対象となっています。また、学校教育推進事業15万5千円の増額は各学校園での学校教育活動時に子どもを預かる場合に補助員を派遣するための経費となっています。

議員からは「学校園以外の子どもが利用する公的施設の点検状況はどうか」、「今補正の窓際の安全対策以外に施設全般の安全性の確保はできているのか」との質疑に対し、当局からは「現在、学校園以外の施設の調査を行っており、必要があれば9月補正で対応していきたい」、「現行予算で対応できない不備な箇所については、今後、積算の上、補正等で対応したい」との回答があり、本会議において全員賛成で可決されました。

なお、改修工事は夏休み期間中に予定されています。



情報公開
Disclose

■政策総務常任委員会

投票区の統廃合が延期に

これまでから選挙管理委員会で進めていた市内53投票区を40投票区に統廃合する見直しが延期されたことについて調査しました。投票区の見直しについては、1月21日の委員会でも調査を行い、様々な問題はあるが選挙管理委員会として強い姿勢で投票区の見直しに臨むとのスタンスを確認後、必要な経費を当初予算で認めてきた経緯もあり、委員会では延期の理由や今後の方向性について質疑を行いました。主な質疑は下記の通り。

問：反対の具体的な理由は。

答：該当地区への説明を行ってきたが、十分には伝わっていなかった状況もあり、突然の話ですぐ実施することに対する反発や高齢者等に対する距離負担増加による投票率の低下に加え、今回の見直しを受けると、今後も更なる削減等により地域がますます切り捨てられることに関する懸念等の意見があった。

問：本年7月の参議院議員選挙からの実施は見送るとのことであるが、今後、投票区見直し案は継続されるのか。

答：選挙管理委員会としては、53投票区を40投票区へ統廃合する基本方針に変更はない。どの時点までに取り組むかは明確にできないが、継続的に取り組んでいく。



■文教厚生常任委員会

子ども手当の支給体制を調査

今年度より新たに制度化された「子ども手当」について、調査しました。委員会では、申請勧奨状況等についての説明を受け、質疑を行いました。主な質疑は下記の通り。

問：ある自治体では給食費を滞納している世帯に対して現金給付するという施策を行っているが、篠山市ではどのように考えているのか。

答：担当部局と協議を行っている。6月支給については口座振込にしており、現金給付は本人の同意が必要であり今回は間に合わないため、10月支給からの実施の有無を決めていきたい。保育所、学校関係からの要望もあり、検討していきたい。

子ども手当の請求をお忘れではありませんか？

平成22年4月から子ども手当制度が始まり、新たに支給対象となる方は、新規(額改定)請求が必要となっています。篠山市では、4月下旬に新たに請求が必要な方に、制度の案内と請求用紙を送付しています。まだ、請求をされていない方は、手続きをお願いします。

詳しくは、保健福祉部福祉総務課(市役所第2庁舎1F) 電話552-7101

■生活経済常任委員会

今年度の主要施策を調査

所管する部署(市民生活部・農都創造部・企業振興部・まちづくり部・上下水道部・農業委員会・消防本部)の今年度の主要施策について調査しました。主な質疑は下記の通り。

問：住民学習について、実施率を指標とされているが大切なのはその中身である。昨年度より、2回のうち1回の開催を自主開催にしたことで、参加者はさらに減ってきている。きちんと状況を把握した上で必要な指導していく必要があると考えるが、どうか。

答：中身の精査も行いながら、日曜日の昼等、開催時間の工夫等、充実に向けて取り組んでいきたい。

問：消防本部については、市民の安全を守るため広範な市域に対応できる人員は必要であると考えているが、現状及び必要な要員配置をどのように考えられているのか。

答：3出張所を24時間体制で維持することを想定すると78名の体制が必要であり、これにより昼間の消防団員の少ない場合の対応も可能であると考え。しかしながら、本市は再生計画を実行中の厳しい状況であり、財政状況を睨みながら、体制整備を要望していきたい。

■議会のあり方研究会

議会の活性化に向けて

平成22年5月に新体制をスタートさせた篠山市議会では、前期に引き続き、議会運営委員会の中に「議会のあり方研究会(森本富夫会長)」を設置し、地方自治体の根幹に関わる政策問題への積極的な関与や、政策に関わる執行機関の活動に関するチェック機能を発揮するため、議会の活性化に向けた改革を行っていくこととしています。今後の主な検討項目は以下のとおりです。

■休日議会や議会報告会等、市民に開かれた議会づくりについての調査研究

今年の3月定例会にて実施した土日議会については、初めて傍聴に来られた方も多くあり、一定の成果はありました。継続開催については、賛否両論ある中、費用対効果や当日に実施したアンケート結果等も参考にしながら、また、各地区に出向いての議会報告会の開催検討等、誰もが傍聴しやすい環境づくりをさらに進めていくこととしています。

■議員定数についての調査研究

篠山市議会では、議員定数を何度かの改正を経て20人としています。市町村議会議員は、地方自治法91条により、上限数が決められており、定数は条例により定めています。

研究会では、地域の均衡ある適正な行政、能率的な行政、住民の要望に即応した行政を確保するためのチェック機能を果たせる適正数等について調査研究を行っていくこととしています。

合併以降の議員定数の推移

H12	H16	H20
58人→26人	26人→22人	22人→20人

地方自治法で規定されている上限数

市の場合	
人口	上限定数
5万人未満	26人
5～10万人未満	30人
10～20万人未満	34人
20～30万人未満	38人

30～40万人未満	42人
40～50万人未満	46人
50～60万人未満	50人
60～70万人未満	54人
70～80万人未満	58人
80～90万人未満	62人
90～100万人未満	66人
100万人以上	70人

■政務調査費についての調査研究

政務調査費とは、議員が政策調査研究等の活動を行うために支給される費用であり、条例で定めています。篠山市議会では、平成13年度より支給しており、1人月額20,000円を会派単位で交付しています。なお、平成19年度より、全ての支出に対し、領収書の添付を義務づけています。この政務調査費について、有効活用等を含めあり方を広く調査研究していくこととしています。

市職員の逮捕について

平成22年4月30日、収賄容疑による市職員逮捕という、大変悲しく、絶対に許されない事態が発生しました。私たち議員の責任も真摯に受け止めなければなりません。事件の経緯や経過については、全員協議会で報告を受けるとともに、政策総務常任委員会においては、本市の懲戒制度及び入札制度について調査を行ってきました。

市議会としても、今後は、このような事件が起こった原因を踏まえつつ、再発防止に取り組み、市民の信頼回復に努めていきます。(特別委員会の設置については、裏面参照)

市長及び副市長の給与を減額



議案第75号 篠山市市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

市職員の収賄容疑による逮捕・起訴および複数の職員が元職員に入札情報を教示した不祥事を受け、本事件に関与した職員の管理監督に適正を欠いたとして特別職である市長及び副市長について減給の処分を行うものです。

減額率及び減額期間
市長 1/10減額 3ヶ月(H22.7～9)
副市長 1/10減額 1ヶ月(H22.7)

本会議において全員賛成で可決しました。

補正予算審査に活発な質疑

今回の補正予算は、県補助金（緊急雇用就業機会創出基金事業補助金）に伴う財源更正や児童扶養手当法・障害者自立支援法等改正に伴う増額、口蹄疫対策等の緊急性の高い事業等が計上されました。
今回審議された補正予算はすべて原案可決しました。審議した主な内容をお伝えします。

補正予算特別委員会を設置

平成22年度篠山市一般会計補正予算及び篠山市下水道事業特別会計補正予算（議案93号・94号）を審議するために、議長を除く全議員により補正予算特別委員会を設けました。委員長に大上磯松議員、副委員長に木戸貞一議員を選出し、政策総務分科会、文教厚生分科会、生活経済分科会を設け、それぞれ関係する常任委員が構成員となり審査を行いました。

議案93号
一般会計
補正予算
(第一号)

■篠山市職員汚職・反省と根絶の委員会の委員謝金 [12万円]

問 最終的に10月を目途にまとめられるとのことであるが、議会との調整、情報提供はどうなるのか。

答 議会でも特別委員会を設置される方向と聞いているが、基本的な部分については、適宜情報提供していくこと

もに、議会との意見交換も行っていきたい。

者数に合わせた投票箱を購入する。従来のものは保管場所を多く取るので、今回から折りたたみ式にして保管スペースを少なくする。

■チルドレンズミュージアム敷地内の獣害防護柵整備 [25万円]

問 有害鳥獣対策として、防護柵に市から補助金が出ているが、二重の補助にならないか。

■児童扶養手当法の改正(父子の対象化)に伴うシステム改修委託費及び手当分の追加 [580万円]

問 父子対象者24名のためのシステム改修で99万8千円は高額であると感じるが、どうか。

■選挙投票区の再編見直し [548万円]

問 投票事務補助員の公募について、人数がオーバーしなければ、応募者は全員採用するのか。

答 本人に書類を持参してもらうので、面談のうえ判断する。

■障害者通所サービス利用促進事業補助金 [200万円]

問 国・県の補助メニューの周知や啓蒙はできているのか。

答 補助事業の活用については事業所と連携しながら対応している。

■自殺対策補助事業 [15万円]

問 電話相談の体制を早期に確立してほしい。

■国の補助制度変更に伴う財源更正及び事業精査 [39万円]

問 ミックス事業の完成後に掛かる費用はどの程度か。

■市民プラザ開設 [300万円]

問 グランドや体育館、会議室等の使用料の減免対象となっている青少年健全育成等に係る登録団体との関係は。

答 登録可能である。但し、登録による設備関係の支援については、会議資料やチラシ作成のためのコピー機や印刷機等の使用であり、会議室の使用料の減免ではない。

■自殺対策補助事業 [15万円]

問 電話相談の体制を早期に確立してほしい。

答 職員のプロジェクトチームで充分検討して早期に立ち上げていきたい。また、県は既に対面相談や電話相談を実施しており、PRを行っていく。



■自殺対策補助事業 [15万円]

問 電話相談の体制を早期に確立してほしい。

答 職員のプロジェクトチームで充分検討して早期に立ち上げていきたい。また、県は既に対面相談や電話相談を実施しており、PRを行っていく。

■ヒブワクチン予防接種費用助成金 [156万円]

問 ワクチンは足りているのか。

答 全国的に供給量が少なく、希望者に行き渡っていないが、年度内には解消できるといわれている。

■生物多様性の調査等業務委託(森の学校復活大作戦事業) [256万円]

問 事業の詳細なスケジュールや内容を十分に説明できないのは問題ではないか。

答 環境基本計画でうたっている「生き物との共生プロジェクト」の取り組みとして実行していく。身近にできる自然環境保全等の取り組みの検討等を行う実行委員会を立ち上げ、その委員会の検討材料として提示していくための基礎データをまとめていく。

■帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制の整備 [86万円]

問 対象となる生徒数と具体的な取組内容は。

答 対象児童は11名。それぞれの学校に就学している子ども達に授業がわかるように母国語を使える指導員を派遣、日本語指導し、授業を支援している。

■生物多様性の調査等業務委託(森の学校復活大作戦事業) [256万円]

問 事業の詳細なスケジュールや内容を十分に説明できないのは問題ではないか。

答 環境基本計画でうたっている「生き物との共生プロジェクト」の取り組みとして実行していく。身近にできる自然環境保全等の取り組みの検討等を行う実行委員会を立ち上げ、その委員会の検討材料として提示していくための基礎データをまとめていく。

■特別支援教育総合推進事業 [42万円]

問 リーフレット作成の目的と内容は。

答 一人ひとりの障害の状況に同じ将来の自立と社会参加を目指すためリーフレット作成などを行う。

■生物多様性の調査等業務委託(森の学校復活大作戦事業) [256万円]

問 事業の詳細なスケジュールや内容を十分に説明できないのは問題ではないか。

答 環境基本計画でうたっている「生き物との共生プロジェクト」の取り組みとして実行していく。身近にできる自然環境保全等の取り組みの検討等を行う実行委員会を立ち上げ、その委員会の検討材料として提示していくための基礎データをまとめていく。

■城東小学校開校に伴うスクールバス運行委託料の確定 [△137万円]

問 乗合タクシーの廃止に伴うスクールバスの乗り入れについて、経費や時間等総合的に考えているか。

■生物多様性の調査等業務委託(森の学校復活大作戦事業) [256万円]

問 事業の詳細なスケジュールや内容を十分に説明できないのは問題ではないか。

答 環境基本計画でうたっている「生き物との共生プロジェクト」の取り組みとして実行していく。身近にできる自然環境保全等の取り組みの検討等を行う実行委員会を立ち上げ、その委員会の検討材料として提示していくための基礎データをまとめていく。



篠山養護学校

■中心市街地活性化基本計画策定業務 [200万円]

問 前計画時とは様々な面において状況も変わってきている。今回、策定する計画においても、中心市街地の定義については、市としてしっかりと考えた方をもった上で臨むべきであると考えているが、どうか。

答 基本的には城周辺と考えるが、範

■生物多様性の調査等業務委託(森の学校復活大作戦事業) [256万円]

問 事業の詳細なスケジュールや内容を十分に説明できないのは問題ではないか。

答 環境基本計画でうたっている「生き物との共生プロジェクト」の取り組みとして実行していく。身近にできる自然環境保全等の取り組みの検討等を行う実行委員会を立ち上げ、その委員会の検討材料として提示していくための基礎データをまとめていく。



環境防災みらい学校

議案94号
下水道事業特別
会計補正予算
(第一号)

補正予算特別委員会では今回の補正予算中、取り組み内容や市のスタンスが明確に示されていない段階で計上されている事業が見受けられることについて市長の考え方を伺いました。

市長の考え方を確認した上で、国等の補助金を活用するのは大切なことではあるが、国からの予算があるから実施するのではなく、明確な目的意識を持って各事業に取り組みたい旨を申し入れました。

関連条例の審査



チルドレンズミュージアム入館料の対象年齢を2歳まで引き下げ

■議案第71号 篠山チルドレンズミュージアムの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

本議案は、4月からの指定管理者において4歳未満の幼児にも対応するイベントやワークショップをさらに充実し、展開していることもあり、現在、無料になっている4歳未満の幼児の入館料について、2歳まで対象年齢を引き下げるものです。

政策総務常任委員会では、「指定管理を公募したときの条件と変わるのはいかがでしょうか」「子育ていちばんというイメージの方を優先すべきではないか」などの質疑があり、「公募した時の条件は守っていく姿勢はもっており、当初の条件と大きく変わるものではない」「意見をふまえ、再度指定管理者と協議を行う」との回答を受け、全員賛成で可決しました。

審議後、本会議において賛成多数で可決いたしました。



環境先進都市創造に向けて

■議案第76号 篠山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

■議案第77号 篠山市環境保全条例の一部を改正する条例

■議案第78号 篠山市ポイ捨て等防止条例の一部を改正する条例

本議案は、本市の環境施策に関する基本理念をあらわす篠山市環境基本条例が制定されたことに伴い、その本旨にもとづいた条例となるよう改正するものです。あわせて、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の改正に伴う内容の追記や兵庫県の「環境の保全と創造に関する条例」との整理を行なうものです。

生活経済常任委員会では、ごみの減量化の目標設定や河川敷などへの見回り強化などについて意見が出され、「検討していく」との回答を受け、全員賛成で可決しました。



環境パトロール

公共の場でのポイ捨ては禁止されています!

環境美化については、各地域自治会や団体、個人の方などにより環境美化活動に積極的に取り組んでいただいておりますが、空き缶・ゴミのポイ捨て、犬のふん害についての苦情がよせられることがあります。

良好な生活環境の保全ならびに清潔なまちづくりを推進するため、ルールをみんなで守り、美しいまちをつくらせていきたいと思います。

国民健康保険税の税率を改正

■議案第79号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本議案は、医療費の増加、税率の据え置き、被保険者の課税所得減少などにより、平成21年度決算において実質的な赤字保険者となったことから、平成22年度国民健康保険税率を改正するものです。国保税値上げを緩和する措置として財政調整基金約2億5,000万円を投入しますが、一人あたりの課税額(医療費分平均)は65,318円(21年度は53,980円)になります。

文教厚生常任委員会では、改正による収納率低下の恐れ、短期証券等の発行件数、税率改正等の市民への周知方法などの質疑があり、「税率がアップしないよう手立てを考えてほしい」との意見に対しては、「予防医療に力を入れていきたい」「負担が増えることになるが、相談があった場合は、誠意をもって対応するとともにできるだけ納付意欲を高めるよう取り組んでいきたい」との回答を受け、全員賛成で可決しました。

審議後、本会議において賛成多数で可決いたしました。



市政を問う

6月定例会で8人が登壇、酒井市政を問いました。

■行政運営について

職員逮捕の検証と対応について	森本 富夫 9
市歌について	奥土居帥心 9
指定管理者制度と出資法人の関係について	奥土居帥心 9
次期総合計画について	渡辺 拓道 10
ポスト篠山再生計画について	渡辺 拓道 10
市民サービスへの取り組みの充実と向上することが大切	本莊賀寿美 11

■地域活性化について

定住促進について	森本 富夫 9
丸山の旧キャンプ場を整備して観光客・篠山を愛する人を増やそう	隅田 雅春 10

■市民生活について

西紀トンネルの改修・管理について	森本 富夫 9
篠山市犯罪被害者支援条例の制定について	園田 依子 10
口蹄疫防疫措置の徹底と農家支援について	前田えり子 11
「人権条例」の制定と人権・同和施策について	前田えり子 11

■保健福祉・子育て支援について

味間認定こども園の運営状況について	奥土居帥心 9
子宮頸がんワクチン接種の公費助成について	園田 依子 10

■学校教育・生涯教育について

城北小学校の講堂の建て替えをすべきではないか	隅田 雅春 10
教育方針の中での道徳教育の重要性について	大上 磯松 11

問1 収賄容疑で市職員が逮捕され、市政に対する信頼を損ね信用を失墜させた。再発防止策、既契約行為等について問う。

答1 「篠山市職員汚職・反省と根絶の委員会」で原因究明や不正を生まない職場環境づくり、公正な入札制度の確立などを検討し、改善していく。また、指名停止処分前の施工中の工事請負契約4件については、2件は不公正な入札と認められる。市民の市政に対する信頼を大きく失墜させた責任はこの上なく大きく重いものと判断し、他2件も含め、全4件の契約を工事の進捗状況を考慮しながら解除する。

問2 空き家等の活用可能な資源リスト作成の進捗状況を問う。

答2 調査協力が得られなかった空き家380件について、賃貸や売却等、所有者の意思確認を行っていきたく。合わせて、宅建協会とも連携し、本年9月を目途に市内の空き家と市外からの移住希望者をつなぐシステムづくりを進めていきたい。

問3 常に要望が出ている自転車・歩道の補助照明の設置や反射板の洗浄、「ライト点灯」の看板設置について問う。

答3 補助灯の設置は多額の工事費が必要となり、早急な整備は難しい。清掃車による歩車道及び側壁面の清掃作業を計画するとともに、両側入口付近に「ライト点灯」の看板を速やかに設置する。

問1 開園から2カ月経過した味間認定こども園の現在の状況は。

答1 大きな問題は生じてない。今後も、保護者、地域と連携し、よりよい運営に努力を重ねる。

問2 市歌の「ここに生まれ」という歌詞は、篠山に移り住んだ人に違和感を覚えさせるといった意見についての対応は。

答2 作詞者に確認したところ、「ここ」とはこの星や宇宙を意味し、この世に生を受けたという普遍的な意味合いを込めて使っており、ご理解いただきたいとのことであった。歌詞の見直しについては、市民の意見を聞きながら慎重に検討したい。

問3 大正ロマン館と王地山公園ささやま荘の指定管理について、期間満了の次年度以降は、公募せずに、現在の管理者を選定するのはなぜか。

答3 中心市街地の活性化や本市の観光まちづくりを担う中核的な施設であり、地域のまちづくりに密接に関係していることから、市の出資法人であり、中心市街地活性化法に基づくまちづくり会社に基づき、引き続き指定管理者に選定する方針である。

■その他質問事項
「住民投票条例制定について」

市歌

一、夜明けのひかりに生命はめざめ
みどりゆたかな風が吹く
多紀連山に抱かれて
大地に根を張るさくらのように
愛のこころが育つまち
ここに生まれて愛されて 生きるよろこび創るまち

個人質問

て、賃貸や売却等、所有者の意思確認を行っていきたく。合わせて、宅建協会とも連携し、本年9月を目途に市内の空き家と市外からの移住希望者をつなぐシステムづくりを進めていきたい。



開通後、7年が経過する西紀トンネル

個人質問

隅田雅春
1.城北小学校の講堂の建て替えをすべきではないか
2.丸山の旧キャンプ場を整備して観光客・篠山を愛する人を増やそう



城北小学校講堂

問1 築58年近く経つ城北小学校の講堂を建て替えるべきではないか。

答1 数度の改修により体育館としての機能向上に努めており、授業活動で支障をきたしていないが、同校体育館の改築整備について、教育環境の向上に取り組む必要性を認識している。学校適正配置の進捗や学校施設の耐震補強工事を推し進めている現状や、篠山市再

生に向けた財政計画との整合を図りつつ、実施時期の明確化はできないが、老朽施設への対応の在り方について、検討を進めたい。

問2 篠山の魅力を磨き、発信するために丸山の旧キャンプ場を整備すべきでないか。

答2 豊かな自然環境を丹波篠山の魅力とし、観光客を迎えるおもてなしを地元や地域の活動団体が積極的に取り組むことは、本市がめざす観光まちづくりにおいて、最も重要なことと考えている。旧キャンプ場跡は、クリンソウが満開の時期には登山者の駐車場として沢山の方が利用されるようになった。整備については、以前からの台風災害による風倒木の撤去後の枝木や切株の処理を速やかに行い、景観を損なわない適正な維持管理に努めていく。

渡辺拓道
1.次期総合計画について
2.ポスト篠山再生計画について

問1 ①策定作業が遅れている。②目標将来人口を示さないのか。③篠山の将来像は、「文化芸術創造都市」とすべきである。④住民により作られた地域の将来計画を総合計画の中に位置付けるべきである。

答1 ①少し遅れているが9月議会にその全体像を提案する。②成熟社会において社会資本整備の根拠となる「目標人口」を定めることはまちの方向を見誤る危険がある。将来人口は「人口の見直し」としたい。③素案における将来像は、「人・自然・文化が織りなす農の都」ふるさと日本一 丹波篠山」としている。幅

問2 総合計画の実施計画として位置づけられた「まちづくり編」の計画期間は本年度までである。その後も同様の市民に分かりやすい実施計画を策定するのか。また策定するのであればその時期は。



篠山再生計画ダイジェスト版

答2 「まちづくり編」以前は具体的な事業や施策を位置付ける実施計画がなかった。次期総合計画でもまちづくり編に続く実施計画をつくっていく。22年度中に取りまとめた

広い議論の中で決めていきたい。④大山地区で取り組まれたように、地域の方々が地域の将来像を展望する計画を策定し実践しようとすることは重要である。そのような地域の計画の重要性を総合計画の中に盛り込んでいきたい。

園田依子
1.子宮頸がんワクチン接種の公費助成について
2.篠山市犯罪被害者支援条例の制定について

問1 子宮頸がんワクチンの主な原因はウイルス感染であり、思春期、主に10代前半の女児への予防接種と検診によって100%予防できるが、と言われている。しかし、費用は高額であり、公費助成での対応を考慮すべきではないか。

答1 子宮頸がんワクチンは任意の予防接種であり、接種費用が1回約1万5千円、基本半年間で3回接種、約4万5千円と非常に高額であることから、市民から接種費用の助成についての要望もある。ワクチン接種は子宮頸がんから命を守るために非常に有効な手段であり「子育て一番」を目指す市にとって、費用助成は必要なサービスであると考えており、実施に向けて検討していく。

問2 篠山市においても犯罪被害者になることは特別なことではない社会



状況にある。被害者の方々を市全体で温かく支える地域社会づくりを目指すことが大切。被害者の視点に立った施策と相談窓口の設置しておくべきではないか。

答2 本市は犯罪の非常に少ない地域であるが、今後、支援の必要な被害者が出ることも想定し、被害者の人権やプライバシーに配慮しながら、必要な支援策についての制度づくりを前向きに取り組む。

大上磯松
教育方針の中での道徳教育の重要性について

問 ①教育長ほどの程度道徳教育が重要であると認識しているのか。②道徳教育を教える教師がいるのか。どのように育成しているのか。③「感謝の気持ちを持つ」として、ありがたみの感謝の気持ち伝えるプロジェクト事業の具体的な内容は。

答 ①市においては、「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」という教育理念を基にして、児童生徒を取り巻く様々な課題の解決に向け、自身自身の生き方をしっかりとみつめる篠山っ子を育てるために最も重要だと認識している。②「道徳の時



道徳の時間等に活用されている教材「心のノート」

問「の指導は、学級担任を中心として職員が協力して行っている。各学校における校内研修や授業研究とともに、授業の公開、地域の素材をもとに副読本を作成し、地域とのつながりを深めている取り組み等により、常に道徳教育に関わる研修に努め、教職員の資質向上に努めている。③自分を育ててくれた保護者など自分を取り巻く様々な人々への感謝の思いを手紙等に表現する。なお、各学校学級の実態や子供達の発達段階に応じ、創意工夫して取り組むこととしている。書き綴った手紙等については、各学級学級1点程度の作品を集めて展示することとしている。

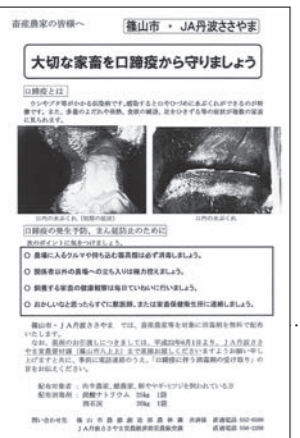
その他質問事項
「市内の幼児教育・小学校教育、又取り巻く環境の現状と課題について」

「市内の幼児教育・小学校教育、又取り巻く環境の現状と課題について」

前田えり子
1.口蹄疫防疫措置の徹底と農家支援について
2.「人権条例」の制定と人権・同和施策について

問1 市内への口蹄疫病原体侵入を防ぐため、消毒資材がいきわたるようにするを求める。また、畜産農家への適切な指導や助言、まん延防止対策、正確な情報普及、万が一の場合の埋却地の確保等の状況は。

答1 市及び農協で関係農家へ消毒薬剤等の無償配布をしており、安全が確認されるまでの間は配布していく。丹波県民局口蹄疫連絡協議会」で、迅速な対策を行なうための情報交換や対策を検討するとともに、和田山家畜保健衛生所や獣医師等を中心に指導を実施する。埋却地については、



「口蹄疫防疫に関するポスター」

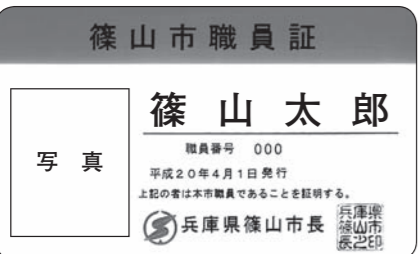
問2 ①市では様々な人権施策を実施してきたが、どう総括した上で、「人権条例」を制定しなればならないと考えているのか。②部落解放同盟の主催する集会等への公募や公費助成はやめるべきだと思いがどうか。

答2 ①過去40年以上にわたる部落差別解消への取り組みの結果、生活や教育環境は大きく改善された。差別をなくすための教育や啓発についても大きな成果をあげているが、近隣都市では差別事件が後を立たない。改めて人権の大切さを認識し、学習・啓発を進めなければならぬと考えている。②参加支援と公募にあたっては集会の趣旨と内容を十分精査する。

本庄賀寿美
市民サービスへの取り組みの充実と向上することが大切

問 ①臨時的任用や非常勤も含む職員の名札の着用が義務付けられているが、相手に分かり易くするため、名前の部分の文字を大きく、はっきりできないか。②業務によって休憩時間が異なることがあると思うが、労働意欲の維持のためにも、休憩時間がはっきり分かるようにする必要があるのではないか。③平成21年度から、各支所に出向かれ「こんにちは市長室」が開催をされている。平日勤務の方や学生の方等の声に応えるためにも、休日開催を検討されてはどうか。

答 ①職員の氏名は、来庁者等にとって大事である。名札の文字が小さいことで、不便をかけていると思う。正職員より名前表示が小さかった臨時任用や非常勤職員の名札については、正職員と同じ大きさのものを配布



現在使用されている職員証(見本)

する。正職員についてもできることから対応していく。②休憩時間の確保が困難な職場や当日の業務処理により休憩時間が確保できない場合は、休憩中の職員である旨を名札として表示するなど、実情に合わせて対応していく。③地域の生活に密着したより細やかな意見や要望を直接聞ける大切な場と考えている。休日開催の必要性については、強く認識しており、秋頃、休日の開庁日に合わせて試験的に実施する。

次回の定例会は9月に開催します

(第74回定例会予定)

本会議(第1日): 9月 8日(水)
 条例改正、補正予算 他

本会議(第2日): 9月15日(水)
 一般質問 他

本会議(第3日): 9月16日(木)
 一般質問 他

本会議(第4日): 9月21日(火)
 決算認定提案 他

本会議(第5日): 9月30日(木)
 委員長報告 他

◎いずれも午前9時30分の開会予定です。議場での傍聴をお待ちしております。(28人・先着順)
 なお、篠山市議会のホームページでも議会中継を見ることができます。
 また、市役所本庁舎(ロビー・議場前)に設置のモニターにて、視聴(リアルタイムのみ)ができます。

ささやま市議会だより 第46号
 平成22年7月21日発行

編集・発行
 篠山市議会 広報編集特別委員会
 木戸 貞一・國里 修久・園田 依子
 恒田 正美・前田えり子・足立 義則
 〒669-2397 兵庫県篠山市北新町4-1
 TEL (079) 552-6855

篠山市議会 検索

PRINTED WITH SOY INK この広報紙は再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています

説明責任 Accountability 収賄事件再発防止調査特別委員会を設置

信頼回復に向けて

篠山市議会では、今回の収賄容疑による市職員逮捕を受け、7月1日に事件の再発防止等に係る調査研究を行うため「収賄事件再発防止調査特別委員会」を設置しました。

委員会では、市当局の再発防止に向けた取り組みを注視するとともに、クリーンな入札制度の構築と行政関係者のモラルの向上を図るための調査研究を行っていきます。

【収賄事件再発防止調査特別委員会】

委員長	林 茂	副委員長	前田えり子
委員	森本 富夫	委員	本莊賀寿美
委員	大上 磯松	委員	堀毛 隆宏

陳情・要望を受けました(平成22年3月20日～6月25日)

■篠山市の地域医療と行政課題についての要望書

篠山市自治会長会理事会会長

■ボランティアセンター設置について

篠山市ボランティア連絡協議会会長・副会長

■30人以下学級実現・義務教育費国庫負担制度2分の1復元をもとめる件

兵庫県教職員組合多紀支部長

※上記の陳情・要望については、市当局へ対し、十分に検討を加えられるように申し入れを行いました。なお、篠山市の地域医療と行政課題についての要望書中、議会に対する要望については、今後、議会で検討を行っていきます。また、30人以下学級実現・義務教育費国庫負担制度2分の1復元をもとめる件については、文教厚生常任委員会で審査の上、本会議での可決をもって関係省庁に意見書を提出しました。

真夏日が続く、寝苦しい日々をお過ごしのことと思います。最近、各報道で篠山市の事件や事故等が取り上げられました。いつも市民の皆さまには、良い報告をさせていただきたいと考えていますが、このような記事を掲載しなければならぬ事については、市議会としても責任を感じています。何事も発生してからの対応はできませんが、「起りうる事」を事前に考え対応することは難しいものです。しかし、このような事を考え、取り組んでいくのが市議会ではないかと思えます。今回は、こうした対応ができていなかったことを反省し、お詫びします。

事件・事故を受け、市議会では、文教厚生常任委員会にて学校の安心・安全な管理体制の現状を確認するために現地調査を行いました。また、「収賄事件再発防止調査特別委員会」を設置し、再発防止に向け取り組んでいきますが、これからの「起りうる事」を想定していかなければなりません。今後は、このような事件・事故等が二度と発生しないように取組んでまいります。

(國里)

まちなみ

広告

食材の宝庫・篠山と共に…

丹波篠山囲炉裏料理

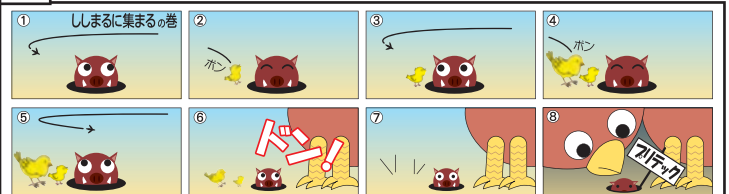
いわや

店主 丹波与作

〒669-2301 篠山市火打岩495-1

TEL 079-552-0702(代) FAX 079-552-6366

広告



心にのこる… 印刷のことなら何でもおまかせください

総合印刷 株式会社 プリテック TEL(079) 552-0261

〒669-2333 篠山市南新町67-1 FAX 079-552-2484 URL www.pritec.net E-mail info@pritec.net